



つながる海岸線

海岸域の生物多様性を学ぶ！

さまざまな方向から海岸を捉えてみると、何が見えてくるのか？
今回はより幅広く海岸を考察します。

2008年
4月27日(日)

場所：豊橋技術科学大学 A2-101 講義室
時間：(受付) 10:15 (開始) 10:45

参加費：500円 (要申し込み)

お申し込みはメールかお電話でお願いします。
なお、会場周辺はミニストップしかありませんので、シンポジウム
お申し込みの際にお弁当も受け付けます。(お弁当 700円お茶代)

海岸線には、さまざまな「つながり」が存在します。

山と海をつなぐ川は砂を運び、砂浜ではさまざまな植物が砂丘と丘陵を結び、そしてこの植物がつなぐ海岸に動物が生息し、人々が暮らすまち
は海岸線で結ばれています。また漁業は、歴史文化に於いても海と人の社会をつないで来ました。

このシンポジウムは様々な角度から海岸線を捉え、「海岸のつながり」を探ってみます。

砂浜の消失から受ける沿岸域の環境と社会変化。そして遙か昔から海岸線・生態系サービスからの恩恵を受けてきた日本は
「海岸線のつながり」をいかに私たちの未来に繋げていくのか？各専門的な見地から考察してみようと思います。

ぜひ！ご参加ください。

■ プログラム ■

(午前部) ※ 都合により講演順序に変更がある場合もあります。

(11:00~11:25)

海岸線はつながるか

講師：宇多 高明氏

(財) 土木研究センター なぎさ総合研究室 室長

(11:30~11:55)

海岸環境と越境連携

講師：青木 伸一氏

国立大学法人 豊橋技術科学大学 海岸工学研究室 教授

(12:00~12:50)

昼食

注意：会場の周辺はミニストップしかありませんので、シンポジウムのお申し込みの際にお弁当(600円+お茶代)をお申し込みいただければ手配させていただきます。

(午後部)

(12:50~13:15)

ウミガメの視線でとらえる砂浜環境の諸問題

講師：松沢 慶将氏

特定非営利活動法人日本ウミガメ協議会 主任研究員

(13:20~13:45)

生態系サービスという概念について

講師：道家 哲平氏

(財) 日本自然保護協会 国際担当

(13:50~14:15)

私たちと海岸のつながり

講師：清野 聡子氏

東京大学大学院 総合文化研究科 専門：海岸・河川環境保全学

(14:15~14:20)

休憩

(14:20~15:20)

総合討論 コーディネーター：表浜ネットワーク 代表 田中雄二

閉会・・・15:30

主催：NPO法人 表浜ネットワーク
共催：豊橋技術科学大学連携融合事業
「県境を跨ぐエコ地域づくり戦略プラン」
後援：愛知県、国立大学法人 豊橋技術科学大学
特定非営利活動法人 日本ウミガメ協議会
(財) 日本自然保護協会 / R.P.N
サーフライダー・ファウンデーション・ジャパン
生物多様性フォーラム
協力：国立大学法人 豊橋技術科学大学 海岸工学研究室
遠州灘プロジェクト / 渥美自然の会

お申し込み / お問い合わせ

NPO法人 表浜ネットワーク
office：〒441-8151 愛知県豊橋市曙町測点93-14
電話：0532-37-5961
URL：<http://www.omotehama.net/>
e-mail：info@omotehama.net